

決算説明資料

2023年3月期 第1四半期

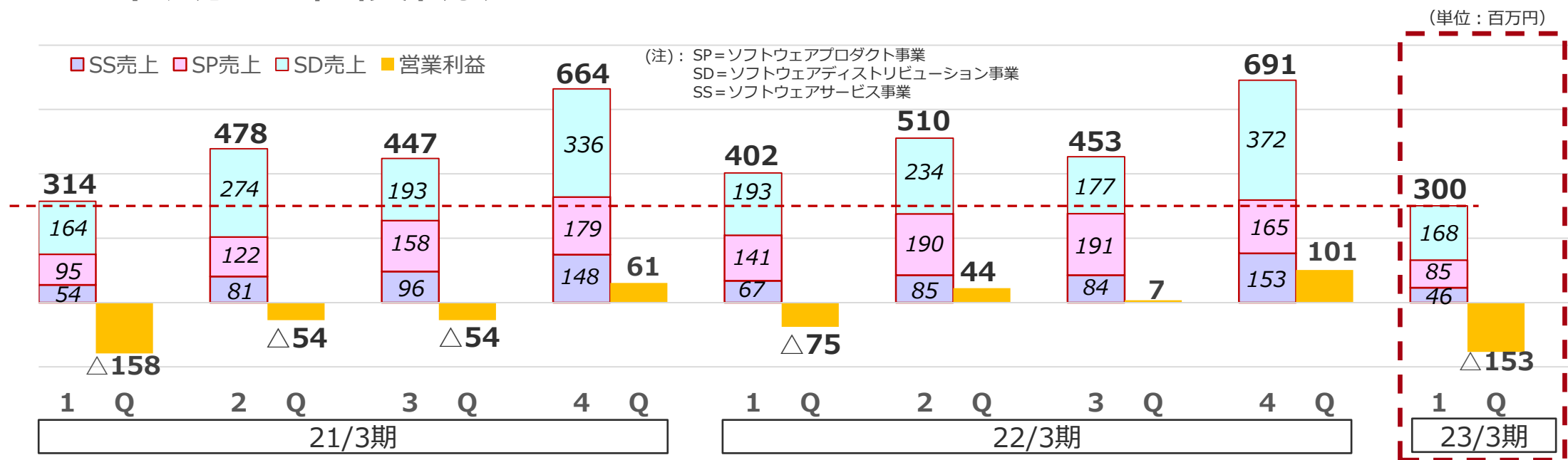
株式会社ユビキタスAI
代表取締役社長 長谷川 聡
2022年8月15日

Index

- 第 1 四半期業績 概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第 1 四半期業績 概要

第1四半期 業績概況



- ・ コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢の影響により、売上高・営業利益ともに前年同期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期の業績と同水準に

- 連結売上高：300百万円（前年同期比：25.3%減）、連結営業損失：153百万円（前年同期営業損失：75百万円）

- セグメント別概況

ソフトウェア
プロダクト事業

売上高
営業損失

85百万円
69百万円

車載機器関連のロイヤルティ売上の減少、及び売上高・営業利益ともに前年同期、前々年同期を下回る

ソフトウェア
ディストリビューション事業

売上高
営業損失

168百万円
73百万円

車載機器関連等のロイヤルティ売上が減少したものの、組織再編による人員減少により営業利益は対前年同期比で微増

ソフトウェア
サービス事業

売上高
営業損失

46百万円
10百万円

受託開発案件の期ズレ、車載機器関連のロイヤルティの減少により売上・営業利益ともに前年同期、前々年同期を下回る

コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢による当社業績への影響

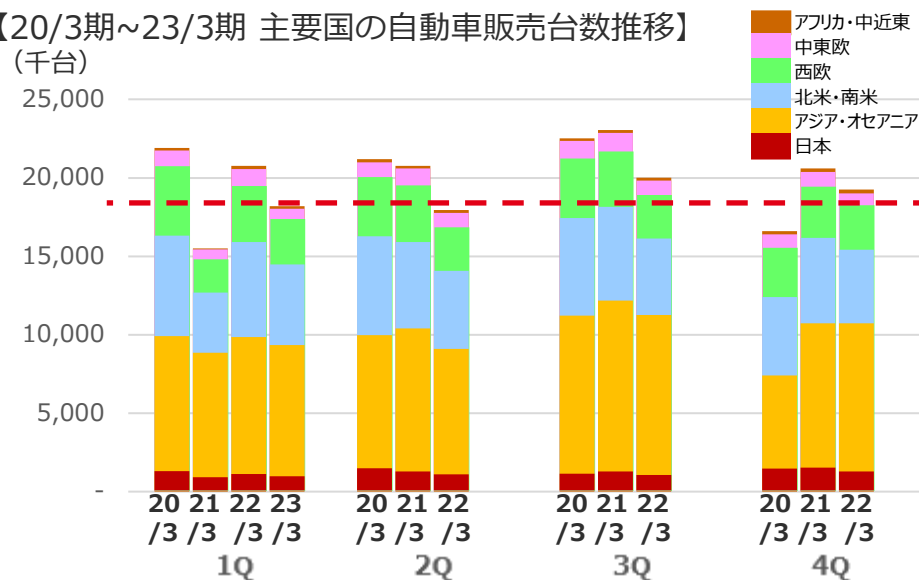
■ 車載機器関連

- 世界自動車販売台数は、当第1四半期は前年度割れ
- 国内自動車販売台数も同様
- 当社の車載機器関連売上も同様に推移

■ 新規案件

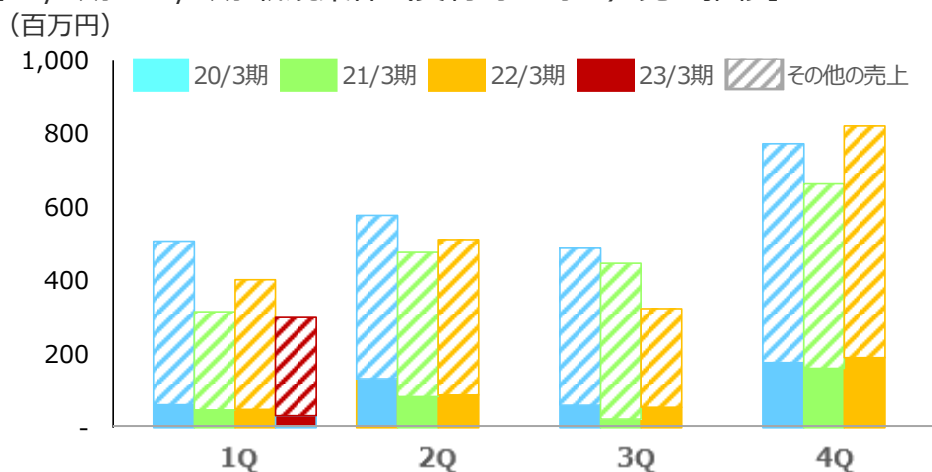
- 前年同期を下回り、前々年同期と同水準に
- 新規問い合わせ・引き合い自体は増加基調

【20/3期~23/3期 主要国の自動車販売台数推移】
(千台)

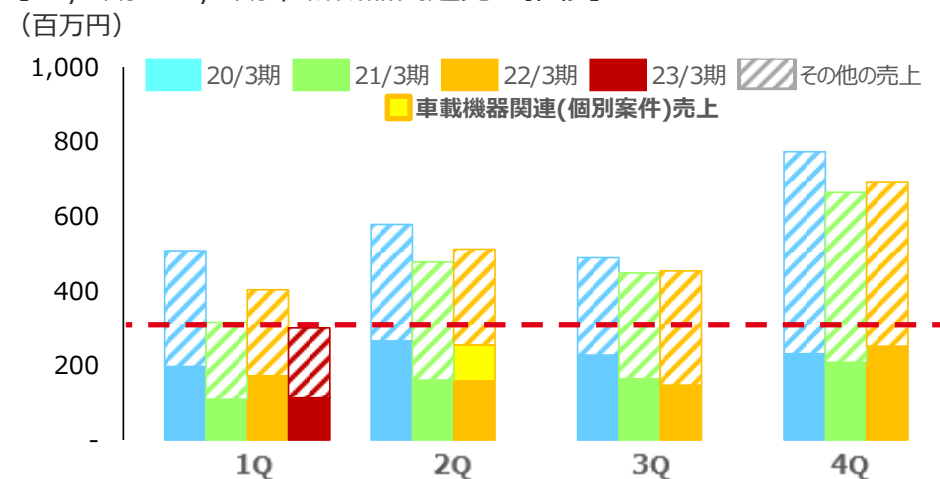


出典: MARKLINES「自動車販売台数」

【20/3期~23/3期 新規案件（契約時一時金）売上推移】
(百万円)



【20/3期~23/3期 車載機器関連売上推移】
(百万円)



前年同期比:セグメント及び製品分野別売上高

(単位: 百万円)

セグメント	分野	23/3期 1Q (連結)	22/3期 1Q (連結)	増減率	20/3期 1Q (連結)	増減率
ソフトウェア プロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ&OS	9	12	△21.7	31	△70.0
	高 速 起 動	74	98	△24.1	95	△21.8
	デ – タ ベ – ス	1	31	△94.3	23	△92.4
	小計	85	141	△39.3	150	△42.8
ソフトウェアディストリビューション事業		168	193	△12.7	270	△37.5
ソフトウェアサービス事業		46	67	△31.9	86	△46.5
合計		300	402	△25.3	506	△40.6

前年同期比:セグメント別売上及び利益

(単位: 百万円)

		23/3期 1Q (連結)	22/3期 1Q (連結)	増減額	20/3期 1Q (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	85	141	△55	150	△64
	セグメント利益	△69	11	△80	32	△101
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	168	193	△24	270	△101
	セグメント利益	△73	△82	8	※1 △53	△19
ソフトウェアサービス事業	売上高	46	67	△21	86	△40
	セグメント利益	△10	△4	△6	※2 △10	△0
合計	売上高	300	402	△101	506	△205
	セグメント利益	△153	△75	△77	※3 △31	△121

(注) ※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 26百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 25百万円を含めております。

※3 上記ののれんの償却額 52百万円を含めております。

前年同期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位: 百万円)

		23/3期 1Q (連結)	22/3期 1Q (連結)	増減額	20/3期 1Q (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売 上 高	85	141	△55	150	△64
	セグメント利益	△69	11	△80	32	△101
ソフトウェア ディストリビューション事業	売 上 高	168	193	△24	270	△101
	セグメント利益	△73	△82	8	※1 △27	△45
ソフトウェアサービス事業	売 上 高	46	67	△21	86	△40
	セグメント利益	△10	△4	△6	※2 15	△26
合計	売 上 高	300	402	△101	506	△205
	セグメント利益	△153	△75	△77	※3 20	△173

(注) 22/3期との比較利便性を考慮し、

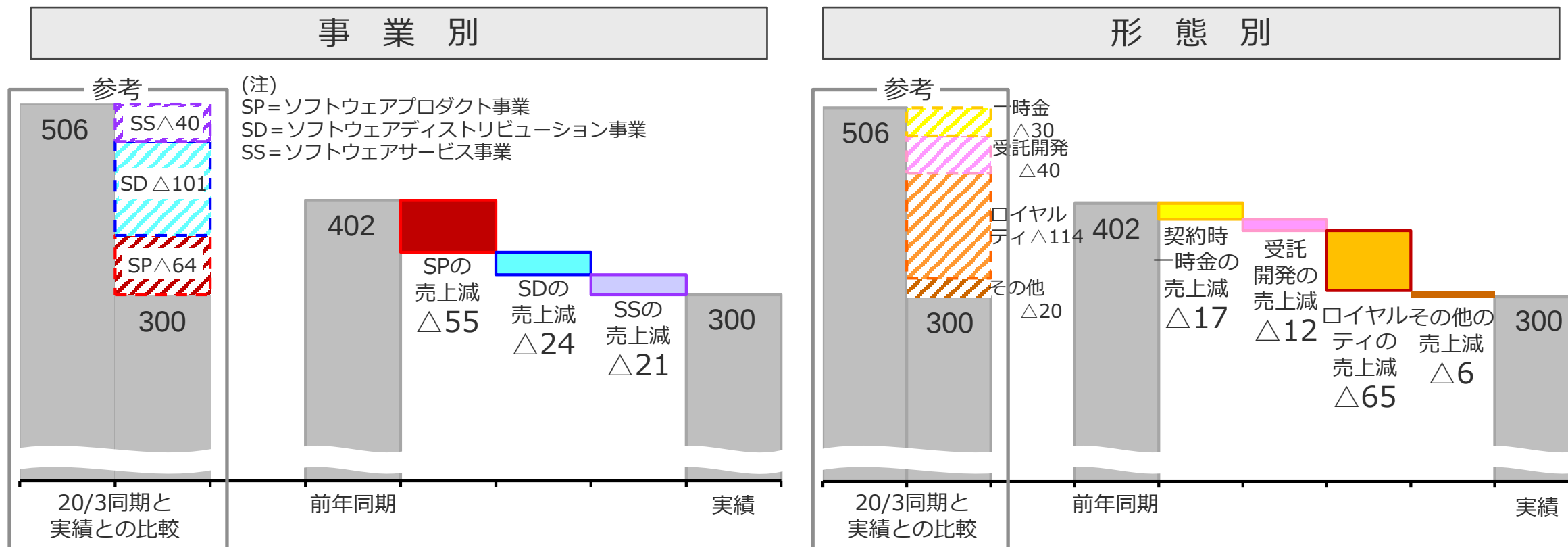
※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 26百万円を含めておりません。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 25百万円を含めておりません。

※3 上記ののれんの償却額 52百万円を含めておりません。

前年同期比：売上高

(単位：百万円)

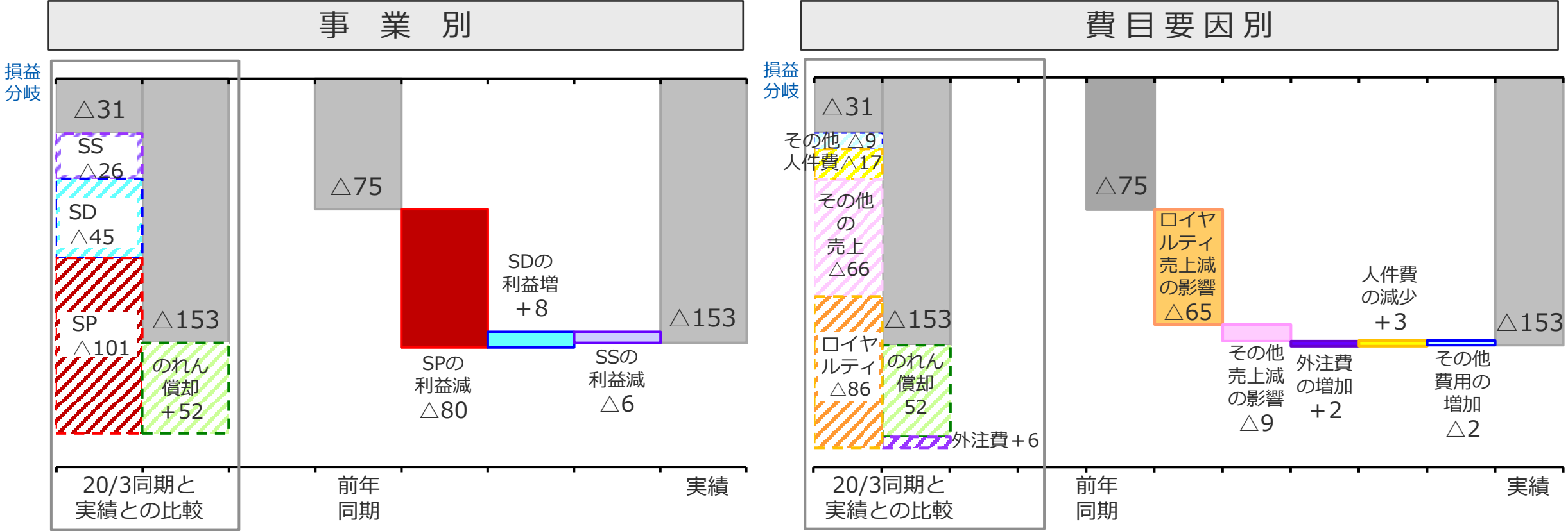


■売上高：22/3期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期と同水準に

- SP事業：全般的にロイヤルティ売上が減少、特にデータベースのロイヤルティ売上の減少が影響し、22/3期、21/3期を下回る
- SD事業：契約時一時金売上、ロイヤルティ売上が減少し、22/3期を下回り、21/3期と同水準に
- SS事業：車載機器関連のコンテンツライセンスが減少、受託開発案件の期ズレもあり、22/3期、21/3期を下回る

前年同期比：営業利益

(単位：百万円)



■ 売上高同様、22/3期を下回り、21/3期と同水準に

- ・ 主にSP事業のロイヤルティ売上減少に伴い営業利益が減少
- ・ SD事業の一部をSP事業へ移管したことに伴い、対象部門の人件費が各部門の損益に反映

連結損益計算書

(単位：百万円)

	23/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	20/3期 1Q	増減
売上高	300	402	△101	506	△205
売上原価	220	247	△26	281	△60
売上総利益	80	155	△75	225	△145
販管費	233	230	2	257	△24
営業利益	△153	△75	△77	△31	△121
営業外損益	7	6	0	1	5
経常利益	△146	△69	△76	△30	△115
特別損益	-	-	-	-	-
法人税等	2	11	△8	5	△2
四半期純利益※	△149	△80	△68	△35	△113

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

	22/6月末	22/3月末	増減
現金・預金	725	705	20
受取手形・売掛金・契約資産	336	652	△315
有価証券	1,000	1,000	-
棚卸資産	12	0	12
前払費用	48	43	4
その他流動資産	77	27	50
流動資産	2,200	2,428	△228
固定資産	473	546	△73
資産合計	2,673	2,974	△301

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

	22/6月末	22/3月末	増減
買掛金	74	153	△79
未払金	33	32	1
契約負債	81	97	△15
その他流動負債	※ 138	※ 164	△26
流動負債	328	448	△119
固定負債	75	84	△8
資本金	1,483	1,483	-
資本剰余金	1,453	1,453	-
利益剰余金	△775	△626	△149
その他純資産	107	131	△24
純資産	2,269	2,442	△173
負債・純資産合計	2,673	2,974	△301

※、本社移転・集約に係る資産除去債務を含めて表示しています。（22/6月末 73百万円、22/3月末 79百万円）

通期業績予想（連結）に対する進捗

（単位：百万円）

	通期 業績予想	第1四半期 実績	進捗率（%）
売上高	2,152	300	14.0
営業利益	5	△153	—
経常利益	5	△146	—
純利益	3	△149	—

セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

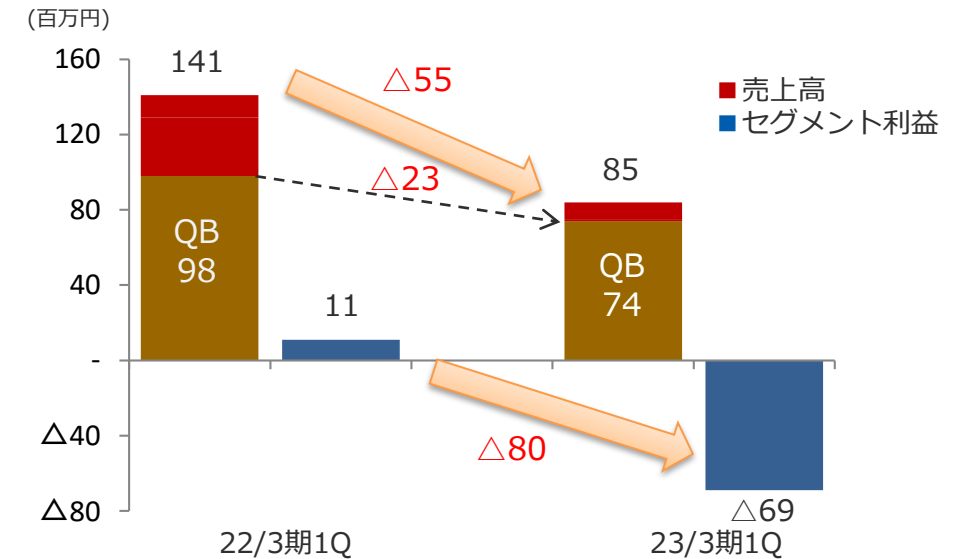
ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連

■当四半期概況

- ・国内外の車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- ・カーナビ等の車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模の開発案件が継続中

■取組方向性

- ・海外市場向けの販売を強化
- ・車載情報端末以外の車載機器向けの拡販を強化
- ・電源断対応ファイルシステムや仮想化技術、セキュアブート等の機能を組み合わせて高付加価値ソリューション化、クロスセルを推進
- ・次世代技術開発の継続



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上・利益です。

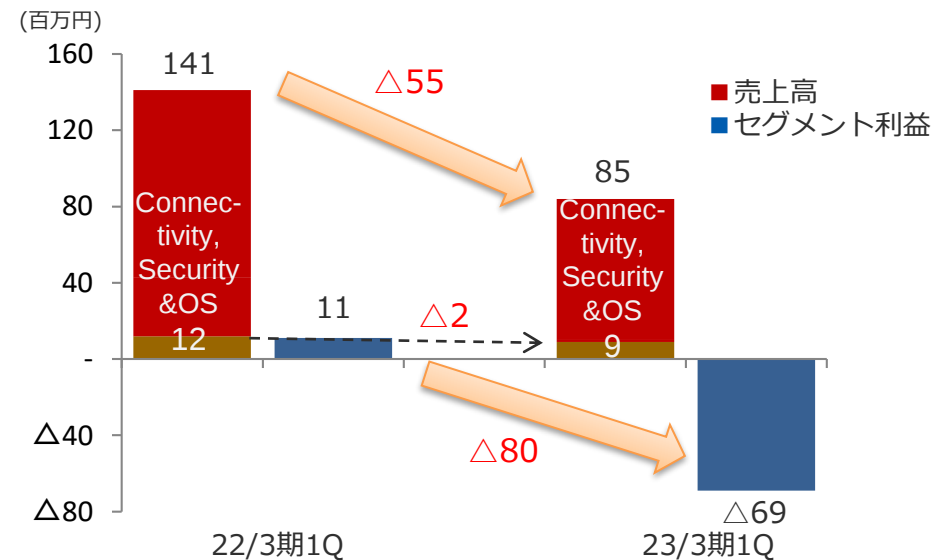


■当四半期概況

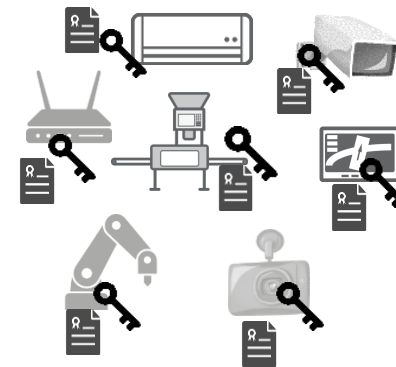
- ・IoTセキュリティ関連の研究開発案件売上を計上
- ・車載インフォテインメント向け大型案件の開発を継続
- ・リアルタイムOS新規案件の獲得が好調

■取組方向性

- ・製品ラインアップを強化し組込み機器向け拡販を推進
- ・IoT機器と車載インフォテインメント機器のセキュリティ需要の高まりに対応した製品販促の強化



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ&セキュリティ関連のみの売上・利益です。



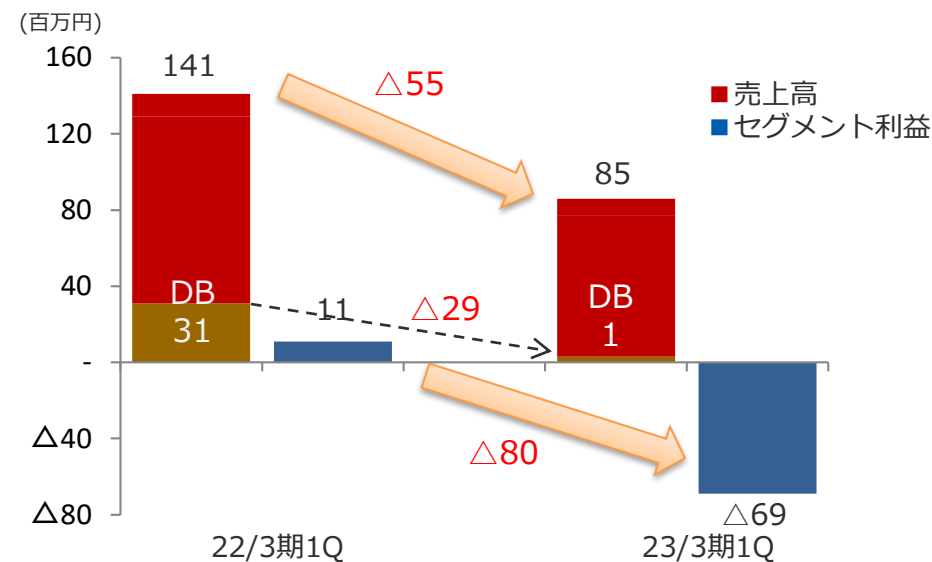
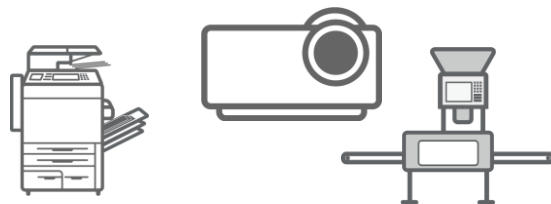
ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

■当四半期概況

- 産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による部品調達の問題による生産量の減少や中国・上海のロックダウンによる生産活動の停止などの影響を受け、見込みを下回る

■取組方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器等に向けた拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上です。

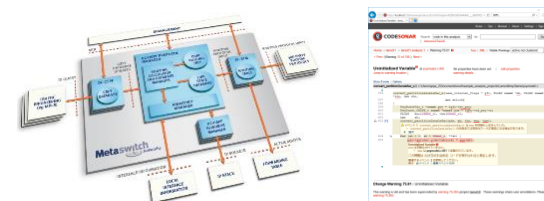
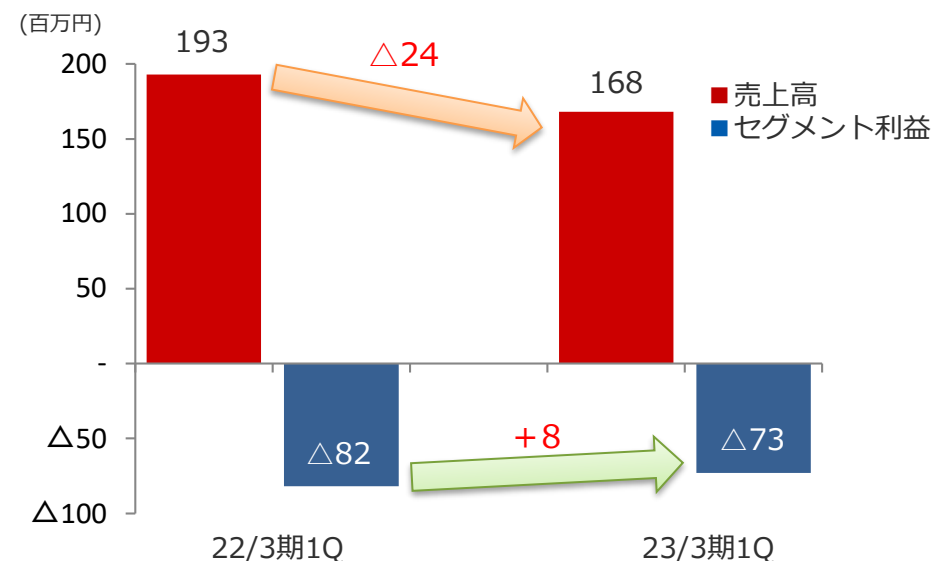
ソフトウェアディストリビューション事業

■当四半期概況

BIOS製品「InsydeH2O®^{*1}」、ワイヤレス製品「Blue SDK^{*}₂」、品質向上支援ツール製品「CodeSonar^{*}₃」、キャリアグレード製品「ConfD[※]₄」等のライセンス及びロイヤルティ売上、IoTセキュリティ検証サービス関連売上等を中心に、多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からの売上を計上

■取組方向性

- ・ コロナ禍によるニーズの変化に対応した製品・技術の発掘
- ・ 市場性のある海外ベンダーの商権の獲得
- ・ 新規開発・獲得した商材の販売強化
- ・ セキュリティ需要の高まりに対応した検証ツールとサービスの訴求
- ・ 年間利用ライセンス契約により収益安定への貢献度が高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進



*1 InsydeH2O®: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*2 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック

*3 CodeSonar: ソフトウェアの動的不具合をソースコードやバイナリファイルから静的に検出することができる解析ツール

*4 ConfD: オンデバイスネットワーク機器管理ソフトウェア

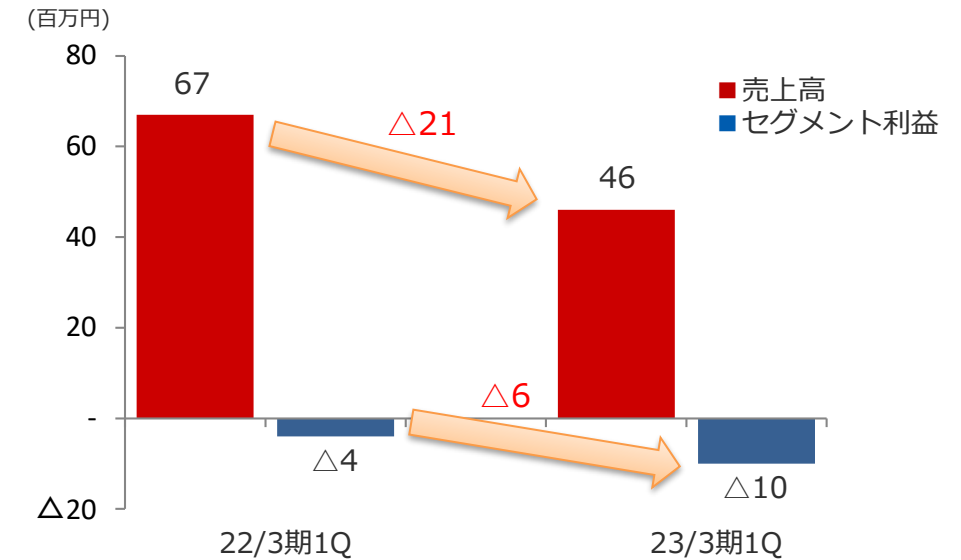
ソフトウェアサービス事業

■当四半期概況

- ・ 既存顧客からの各種受託開発売上を計上
- ・ データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上

■取組方向性

- ・ 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的確保と、協業提案による新たな取り組み
- ・ 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サダマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウヨクミ

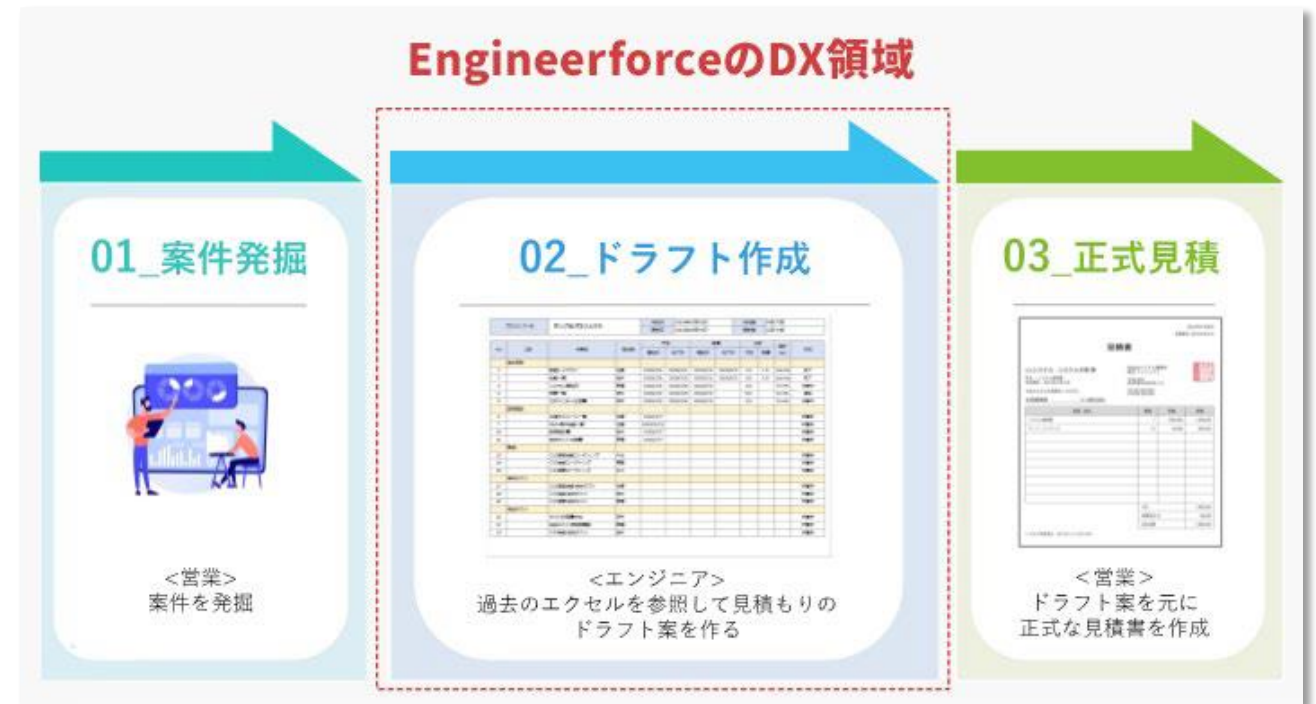
アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

トピックス

エンジニア向け見積もり作成ナレッジシェアツール 「Engineerforce」販売開始（5/12）

見積もり作成時の課題をDXツールで解決

- 過去の見積データを共有して
見積もり精度の向上と省力化を実現
 - 約500種の豊富なサンプルリストで作業の効率化と要件定義漏れを防止
 - チーム、グループ会社間での情報共有で必要情報にスムーズにアクセス
 - 原価計算機能、内部統制に必要な承認フロー機能搭載
 - 収益の見える化（予実管理）



Linux®/Android™高速起動ソリューション 「Ubiquitous QuickBoot」累計出荷数6,000万本突破 (5/13)

車載情報機器での導入が堅調に推移、一部海外メーカーの出荷が本格化

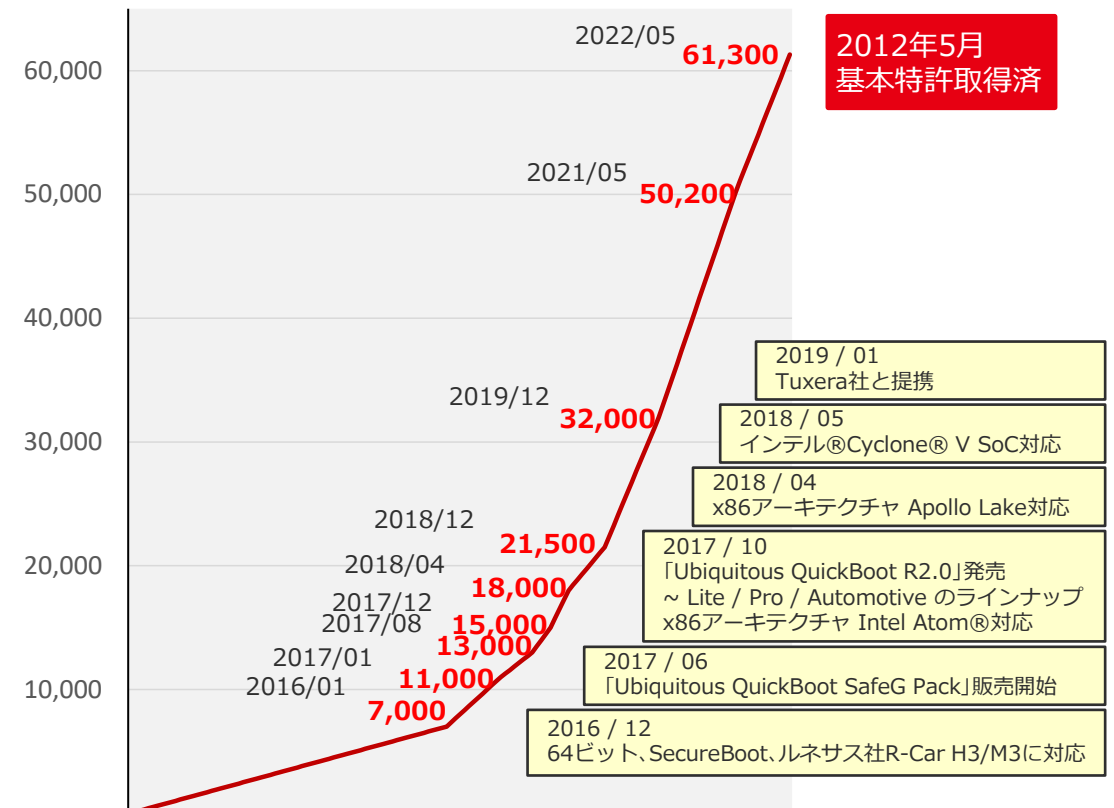
■製品概要

- 当社が独自に開発したシステムの高速起動ソリューション
- 機器の起動時間を簡単に高速化、省電力と快適なユーザーエクスペリエンスの実現を支援

導入効果と
アプリケーション例

導入効果	アプリケーション例
記録・監視など、各種処理をすばやく開始	 監視カメラ  デジカメ  ドライブレコーダー
ユーザーの起動待ちストレスを軽減	 カーナビ  テレビ  パソコン、各種操作卓
すぐ起動できるから、待機電力ゼロでの運用が可能	 モバイルルーター  電子ブック  複合機、プリンタ
製品検査時の1台あたり検査時間短縮で生産性向上	 検査治具  製品の生産

累積ライセンス数の推移



ルネサス社製RZ/T2Mグループ対応の 「TOPPERS-Pro/FMP3」販売開始（6/7）

マルチコア向け商用リアルタイムOSがルネサス社の最新プロセッサに対応

■ マルチコアによる複雑なシステム設計を簡素化

- Arm[®] Cortex[®]-R52コアを2つ搭載したマルチコア構成のルネサス社最新プロセッサ「RZ/T2M」に対応
- SMP型のリアルタイムOSのため、ユーザーはマルチコアを意識することなくシステムの構築が可能
- 複雑なシステム設計を簡素化し、市場投入までの期間を短縮



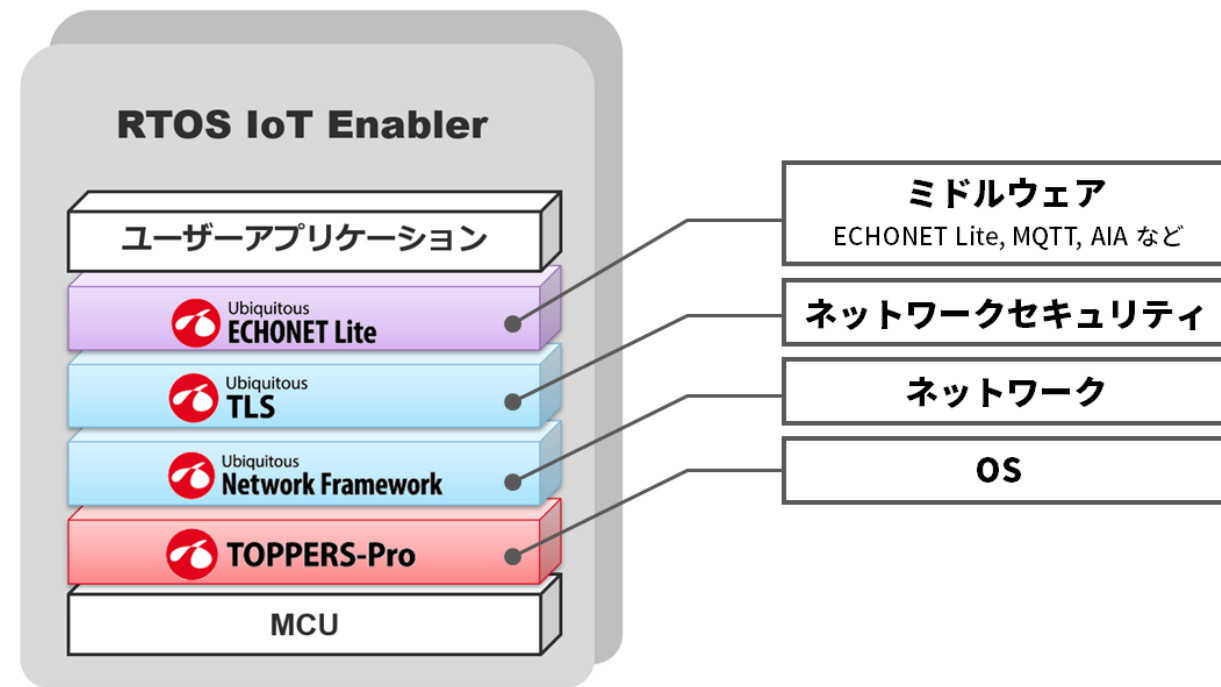
※ 「TOPPERS-Pro/FMP3」は、TOPPERSプロジェクトが開発したオープンソースの TOPPERS/FMP3 カーネルをベースとした動的負荷分散マルチコア対応の商用リアルタイム OSです。

IoT 製品向け組込みソフトウェアのオールインワンパッケージ 「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」販売開始 (6/9)

すぐに IoT 機器を開発できるプラットフォームソリューション

■ IoT機器の開発と市場投入までの期間を50% 短縮し、OSSのセキュリティ懸念も軽減

- 組込みシステムを構成するRTOS、ネットワークスタックとアプリなどのミドルウェアの動作確認済パッケージ
- 商用リアルタイムOS「TOPPERS-Pro」をあらかじめ統合
- 動作/品質保証済み、瑕疵担保責任、知財権侵害補償あり

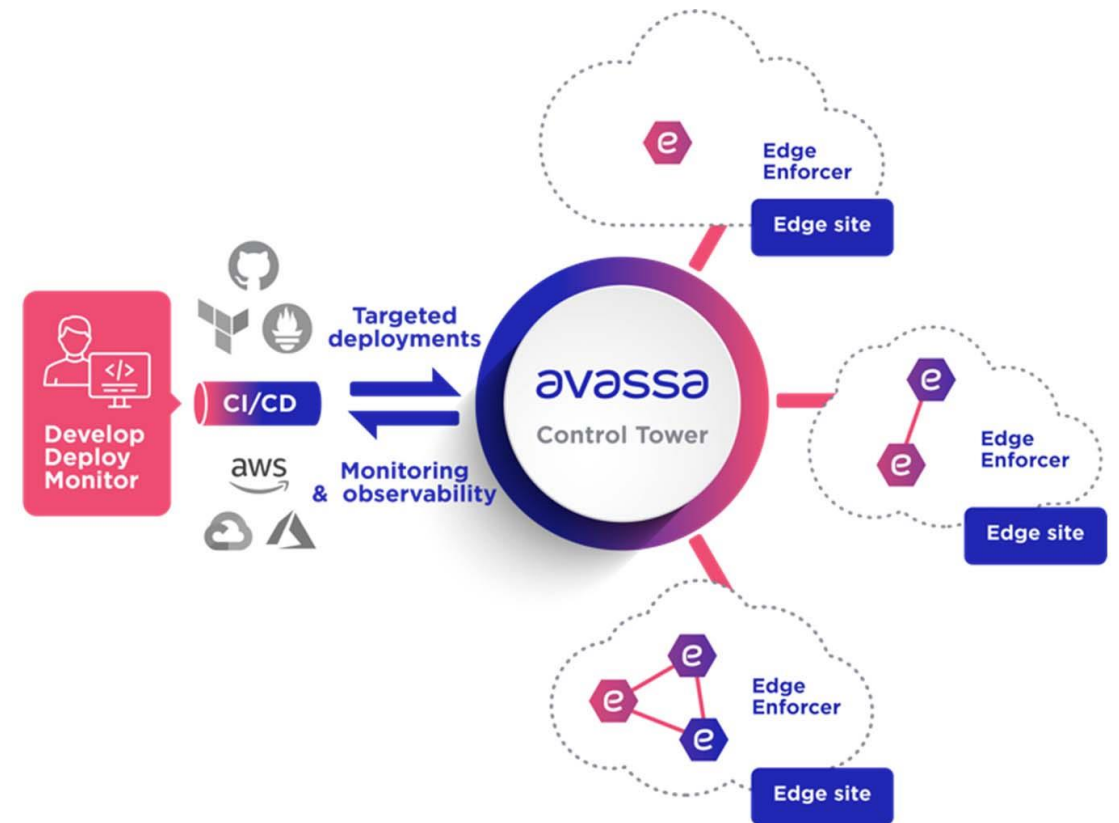


エッジデバイス一括管理プラットフォーム 「Avassa Control Tower」販売開始 (6/14)

エッジデバイス上のアプリケーションのライフサイクルを一元的に管理

■分散したエッジ資源とコンテナ化されたアプリケーションを集中管理

- エッジデバイス上にあるアプリのデプロイ、アップグレード、モニタリングなどを一元管理するプラットフォーム
- 「アプリケーションの仕様」を開発者が定義し、「デプロイの仕様」をエンジニアが定義することでライフサイクル管理を最適化
- 遠隔からの一元的管理で、通信キャリア、スマート工場、防災システム、小売業の在庫管理システムなどの分野で高い効果を期待



富士通クライアントコンピューティングの「FMV LOOX」 にEFI/UEFI準拠BIOS「InsydeH2O®」が採用（6/17）

高速かつセキュアにハードウェアからOSを起動

- FMV LOOXに凝縮された先端ハードウェア技術とともに究極のモバイルノートPCの実現に貢献
 - FUJITSU PC 40th Anniversary企画として発売される「FMV LOOX」
 - UEFI BIOS製品として高いシェアを持つ信頼性、Insyde Software社のUEFIテクノロジーリーダーとしての技術力、ユビキタスAIとInsyde Software社が持つ「人を想うモノづくり」を実現するために必要な高いサポート力を評価



製造業向けビジネスプラットフォームを発表（6/22）

組み込みソフトウェアの開発技術力と顧客基盤を軸に、製造業顧客が必要とするテクノロジーとサービスを提供する企業へ

■製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」

- 大手製造業を中心に構成されるユビキタスAIの顧客に対するテクノロジー・サービスの販売を軸に展開するビジネスプラットフォーム
- これまで当社が取り扱ってきた自社開発と海外メーカーの組み込みソフトウェア製品の販売に加え、「製造業向けに製品・サービスを販売したい国内のスタートアップ・ベンチャー企業の製品」「学術機関と連携した製品」などの販売や関連サービスを提供

多数の大手製造業顧客との取引実績を基盤にした
ビジネスプラットフォームによる事業機会の創出



HEXAGON 取組状況

■賛同企業との具体的な取組を検討開始



- ベンチャー・スタートアップの製品・サービス販売を順次開始予定
- ベンチャーキャピタル・インベスター出資先の販売について各企業と協議中
- 賛同企業も増加予定
- 学術機関との連携について協議中

Appendix

2022年3月期 第4四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第1四半期	5月12日	■ エンジニア向け見積もり作成ナレッジシェアツール「Engineerforce」を販売開始
	5月13日	■ Linux®/Android™高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」が累計出荷数 6,000万本を突破
	6月7日	■ ルネサス社の最新プロセッサRZ/T2Mグループに対応したマルチコア向け「TOPPERS-Pro/FMP3」を6月7日に販売開始
	6月9日	■ IoT機器の開発と市場投入までの期間を50%短縮し、OSSのセキュリティ懸念も軽減できるソフトウェアパッケージを開発～組み込み向けオールインワンパッケージ「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」を6月9日に提供開始～
	6月14日	■ エッジデバイス上のアプリケーションの一元管理を可能にする「Avassa Control Tower」の提供を開始
	6月17日	■ Insyde Software社のEFI/UEFI準拠BIOS「InsydeH2O®」が富士通クライアントコンピューティングの「FMV LOOX」に採用
	6月22日	■ ユビキタスAIが新たなビジネスプラットフォームを発表 ～組み込みソフトウェアの開発技術力と顧客基盤を軸に、製造業顧客が必要とするテクノロジーとサービスを提供する企業へ～
第2四半期 (参考)	8月9日	■ softwareQ社と販売代理店契約を締結 量子コンピューター向けコンパイラ「staq」とシミュレーター「Quantum++」を8月9日より提供開始



Ubiquitous AI